



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.15 2017.11.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



表紙：仲良しもみじ 撮影者：塩田将雄

9月定例会のあらまし 2

一般質問 6

審議結果 11



検索

観音寺市議会

決算審査特別委員会報告

9月11日～13日開催

- 認定第1号 平成28年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号 平成28年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第3号 平成28年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第4号 平成28年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第5号 平成28年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第6号 平成28年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第7号 平成28年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第8号 平成28年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第9号 平成28年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第10号 平成28年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第11号 平成28年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第12号 平成28年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第13号 平成28年度三観衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について

●主な意見

認定第3号については、国民健康保険税の限度額が上がり負担が増えるため、反対するとの意見があった。また、認定第6号については、高額介護サービス費や介護保険料が上がり負担が増えるため、反対するとの意見があった。

審査の結果、認定第12号を除く12議案は認定すべきものと決定した。

認定第12号は、剰余金の処分について原案のとおり可決すべきもの。決算について認定すべきものと決定した。

定例会が1日から26日までの26日間の会期で開かれた。議案については、開会日に工事請負契約の締結の議案に同意し、28年度決算認定13件は決算審査特別委員会へ、29年度補正予算4件、条例関係4件、その他3件は各常任委員会に付託し、審査した。一般質問は、2日間にわたり、14人が個人質問として市政についてただした。最終日には、28年度決算13件を認定し、その他の議案は原案のとおり承認、同意および可決した。また、29年度一般会計補正予算が追加提案され、原案のとおり可決した。

総務委員会報告

9月1日開催

総務部1議案を審査

- 議案第55号 工事請負契約の締結について
観音寺中央幼稚園建設事業（建築主体工事）の工事
請負契約を締結するもの
全会一致で同意すべきものと決定した。



▲観音寺中央幼稚園イメージ図（基本設計時）

9月20日開催

一般会計補正予算（第2号）と政策部1議案、総務部2議案を審査

- 議案第51号 観音寺市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
人事院規則の改正に準じ、再度の育児休業をすることができる特別の事情を追加するもの
- 議案第52号 観音寺市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
観音寺市固定資産評価審査委員会の委員定数などを改めるもの
- 議案第57号 平成29年度観音寺市一般会計補正予算（第2号）について

一般会計補正予算の概要

2億1,627万1千円増（補正後257億8,861万6千円）

主な歳入

地方交付税	△6,189万円
国庫支出金	1,389万円
県支出金	1,629万円
繰入金	△2,250万円
繰越金	3億3,544万円
市債	△7,180万円

主な歳出

空き家対策事業	1,430万円
戸籍住民基本台帳費	1,194万円
保育所運営事業	1,082万円
し尿処理施設維持管理費	4,176万円
単独県費補助土地改良事業	2,065万円
市道舗装新設事業	1,500万円
ふるさと学芸館開設事業	1,384万円
市民会館維持管理費	1,058万円
総合体育館施設設備改修事業	1,119万円

債務負担行為 スクールバス運行管理業務委託料 1億1,301万円
（限度額設定）

- 議案第58号 平成29年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)について

施設貸付事業特別会計補正予算の概要

707万円増(補正後1億5,707万円)

主な歳入

繰越金

707万円

主な歳出

競輪場施設解体整備事業

2,671万円

施設管理等基金積立金

△2,500万円

予備費

535万円

以上4議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設経済委員会報告

9月19日開催

一般会計補正予算(第2号)関係部分と建設部1議案、上下水道部3議案を審査

- 議案第56号 観音寺市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について

観音寺市公共下水道観音寺第1ポンプ場建設工事委託に関する協定に係る費用の減額

全会一致で同意すべきものと決定した。

- 議案第54号 観音寺市営住宅条例の一部改正について

公営住宅法施行令及び施行規則の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの

- 議案第60号 平成29年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

平成28年度繰越金の確定により、主に予備費を増額するもの

- 議案第61号 香川県広域水道企業団の設置について

規約を定め、香川県広域水道企業団を設置することについて、議会の議決を求めるもの

以上3議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教民生委員会報告

9月15日開催

一般会計補正予算(第2号)関係部分と健康福祉部3議案を審査

●議案第50号 専決処分の承認について

子ども・子育て新制度に係る利用者負担額の算定誤り事故に関し、システムを構築した会社との和解に応じるもの
全会一致で承認すべきものと決定した。

●議案第53号 観音寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、支給認定証に関する規定を改めるもの

●議案第59号 平成29年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

介護保険事業特別会計補正予算の概要

1億3,223万8千円増(補正後58億7,923万8千円)

主な歳入

繰入金	4,591万円
繰越金	8,648万円

主な歳出

第1号介護予防ケアマネジメント事業	△232万円
包括的支援事業	232万円
償還金及び還付加算金	1億3,223万円

以上2議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

9月26日開催

教育部1議案を審査

●議案第62号 平成29年度観音寺市一般会計補正予算(第3号)について

市立総合体育館改修工事(建築主体)の設計見直しに伴い、1,850万円を増額するもの
全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

「市民と議会のつどい」の報告

第1部 議会報告会

第2部 市民フォーラム「元気の種を育てませんか!」 ～元気寿命と防災体力の創造～

市議会は、恒例の議会報告会と市民フォーラムを、今年4月に開館したハイスタッフホール(市民会館)の多目的ホールにて、同時開催いたしました。

第1部は、議会報告会を開催し、各委員会および特別委員会から、今年度の議案・事業の説明や委員会視察の報告を行いました。

第2部は、兵庫大学教授の長尾憲樹氏による「防災体力づくり」について講演がありました。

アンケートへの貴重なご意見、本当にありがとうございました。今後の議会運営に生かしていきたいと思っております。

ご参加ありがとうございました





詫問 茂

高齢者の栄養失調への対応は

答 井 適正な栄養管理の啓発に努める

〔質問〕 65歳以上の6人に1人が栄養失調の状態にあり、特に肉に含まれるアルブミンの不足により、70歳以上で要介護、亡くなった人は2.3倍、肺炎にかかった人は9倍にも上っている。市として高齢者の栄養失調についてどのように対処するのか伺う。

〔答 井〕 高齢者が安心して健康な生活を行うには、適正な栄養管理が必要である。高齢者のサロンや老人会において、低栄養の説明や広報などで啓発に努める。

市道整備の進捗状況は

答 井 状況を見ながら整備する

〔質問〕 昭和54年4月に下水道の供用が開始されてから38年が経過しており、当時舗装された道路もかなり傷んでいる。高齢者が増加し、手押し車の歩行者や車椅子の人々も増えており、道路の劣化は子どもたちも含め危険な状況になっている。順次整備もしていただいているが、なかなか進まないのが現状だと思う。まだ改修されていない道路がどのくらいあるのか伺う。

〔答 井〕 下水道の整備延長は現在約84キロメートルあり、供用開始当時に整備され舗装をした箇所、特に細い路地については、修繕を要する箇所がかなりある。今後も状況を見ながら通行に支障をきたさぬよう整備に努めたい。



大平直昭

市民会館の利用状況は

答 井 稼働率50%をおおむね達成

〔質問〕 4月の開館後半年足らずだが、ホールなどの利用状況を伺う。また、開館後判明した問題や課題について、迅速な対応を望む。

〔答 井〕 8月末現在の利用日数は、大ホール69日、小ホール64日、多目的ホール51日と、開館年度の数値目標の稼働率50%をおおむね達成できている。また、施設や備品についてさまざまなご意見やご要望をいただいております。必要なものについては順次整備・購入していく。

答 井 「ほっとはうす萩」の利用状況は開館日数75日で8、949名が利用

〔質問〕 本年6月4日にオープンした観音寺市子育て支援センター「ほっとはうす萩」の利用状況を伺う。

〔答 井〕 8月末現在、市内7、378名、市外1、571名の方が利用。市内の内訳としては、観音寺地区が4、071名、大野原地区が2、467名、豊浜地区が840名、1日平均で日曜日174名、土曜日144名、平日は97名。

自治会館に耐震改修の補助を

答 井 耐震診断を含め検討する

〔質問〕 震災時には地域の重要な拠点になる自治会館の、耐震診断を含めた耐震改修の補助を検討してはどうか。

〔答 井〕 自治会館の耐震化補助は、現在の改修工事補助の対象に含んでいるが、明記していないので、現在の規定を整備するとともに、耐震診断も含め、補助内容の見直しを検討する。



大久保隆敏

農業で活性化を！

答 井 農業など第一次産業の発展が重要

〔質問〕 本市の創生・活性化は、まさに重要課題である。人口減少・少子高齢化社会、我々が今だから経験のしたことのない時代である。創生に向け、私は、農業をはじめとする地場産業で活性化をはかれればと思う。いろいろな方策はあると思うが、あえて一つあげれば何か。

〔答 井〕 地方創生を実現するためには、本市の人口減少を抑制し、バランスの取れた人口構造の確立を目指した出生率の向上、地域経済の活性化、若年層の人口流出の抑制や安心して子どもを産み育てられる環境づくりなど、あらゆる分野の施策を総合的に進めることにより、本市の魅力を高めていく必要がある。

あえてひとつ取りあげるとすれば、都会になく本市が持っているポテンシャルのひとつである農業や水産業をはじめとする第一次産業を発展させることが重要であると思う。今後、国、JAなど関係機関と協力しながらその活性化に取り組み、地域活力の向上と人口減少の抑制に努める。





大矢 一夫

市道中央七間橋線の早期整備を

答 弁

早期完成へ国・県への働きかけを行い予算確保に努める

【質問】 進捗状況と今後の予定と見通しは。

【答弁】 今年度から着手しており、9月中旬に工区全体の用地測量を実施。今年度末までに6件中4件の物件調査を完了させ、来年度以降は、残る2件の物件調査、および用地購入、物件移転補償を行い、県道粟井観音寺線改良工事とも連携し、遅くとも平成32年度末には完成させたい。

市内インフラ整備は

答 弁

状況に応じて対応していく

【質問】 県営街路事業中央村黒線の整備状況および市民会館へのアクセス道路としての大型車の通行規制解除は。

【答弁】 来年度以降も予算額を確保できれば平成31年度には事業完了となる見込み。大型車の規制解除については、近隣の自治会の同意書を添えて要望書を所轄警察署に提出すれば、県公安委員会へ上申してくれる。事業の進捗を見ながら規制解除に向け協議を進めたい。

【質問】 作田小学校の通学路でもある市道大畑玉田線の歩道整備は。

【答弁】 本路線もマウンドアップの歩道であることから、歩行者の利便性向上の面で、県道と同様に改修が望まれるが、こうした改修事業では国費の配分が少ないため、短期間での整備が難しい状況。整備に向け検討したい。



伊丹 準二

産業振興の見通しは

答 弁

農林水産振興に一層の努力をしていく

【質問】 健全な一次産業の発展が本市の将来を左右するが、支援は十分か。

【答弁】 農業関係事業への補助率をアップした。農林水産品のブランド化を図るとともに振興に努力していく。

教育振興の進捗は

答 弁

地域関係者と協議しながら整備を進めていく

【質問】 学級運営用品の不足に対する要望や食育の点から給食の自校方式への要望があるが、保護者への適切な説明を伺う。

【答弁】 学校備品などは各校のヒアリングを下に予算配分している。給食施設については、地域関係者などのご理解を得ながら整備を進めていく。

インフラ整備・道路整備の将来像は

答 弁

持続可能な集約型の街づくりを目指している

【質問】 今後の本市の整備について、伺う。

【答弁】 地域拠点整備はハード面で完了しつつある。豊浜、大野原地区についても合併前からの計画に基づき整備している。

進捗については、それぞれの異なる状況があり、全てが計画どおりとは言えない。次期都市計画マスタープランの中で、将来の街づくりに沿った道路網の整備計画を策定したい。



立石 隆男

中山間地域の振興策は

答 弁

国や県の事業を活用し、中山間地域の振興を図る

【質問】 中山間地域の状況に見合った農業施策について、どのように考えているのか。

【答弁】 平野部との生産費格差をなくするため、中山間地域等直接支払制度を推進。また、圃場整備した農地法面の維持管理は、地表面を被覆植物で覆うカバープランツや防草シートの整備ができる法面管理省力化事業を推進する。国や県の農業関係事業を有効に活用し、中山間地域の振興を図る。

【質問】 豊稔池など観光地の整備はどうなっているのか。

【答弁】 豊稔池は、威厳ある堰堤を誇るダムとして人気を博し、全国からの来訪者が増えている。堰堤手前の駐車場整備や、県と連携して沿線道路の草刈りを行うなど利便性の向上を図っている。この地域資源を市内の他の観光資源とつなげ、持続発展する仕掛けを整備し、経済効果につながるよう関係者と連携していきたい。





篠原 重寿

高齢者を交通事故から守る対策を

【答 弁】 免許証自主返納を推進し、事故減少を図る

【質問】 事故に占める高齢者の割合が大きく、被害者にも加害者にもならない取り組みが必要。

【答 弁】 市内の交通事故に占める高齢者の割合は約4割となっている。県が実施している運転免許証自主返納優遇措置に加え、本市も3月から、のりあいバス回数券（1万円分）を交付。返納件数は94件（9月1日現在）。



職員の健康管理は、より良い市民サービスの提供につながる

【答 弁】 健康診断や福利厚生事業により、健康増進に努める

【質問】 全国の地方公務員の長期休業者（1ヵ月以上）が増加傾向で、その内、メンタルによるものが半数を超えている。特にメンタル対策が必要では。

【答 弁】 昨年から始まったストレスチェックや従来から実施している人間ドックなどにより、健康管理に努める。互助会主催の各種福利厚生事業は、ストレスの発散を促し、健康増進の一助になっている。



高橋 照雄

ニューいぶき新船建造計画の辞退理由は

【答 弁】 復原性の安全確保が困難

【質問】 ニューいぶきの新船建造計画から造船業者が辞退に至った理由を伺う。

【答 弁】 鉄道運輸機構との船舶共有船建造による請負契約を締結するため、本市の公募に応じた造船業者と詳細な設計をする中で、本市の条件どおりの船舶の建造にあたっては、復原性の安全確保が困難であるとの協議があった。これを受けて一部条件の緩和など検討を重ねたが、最終的に、鉄道運輸機構との本契約の前の段階において、造船業者から業務辞退の届出があった。今後の新船建造については、航路改善計画の見直しや修正を検討するとともに、航路改善協議会、運輸局などと協議を進めていく。また、新船の建造にかかる期間については、調査、設計、契約、建造などを含め、おおむね2年の期間を要することになるが、本航路は島民の生活と切り離すことができない唯一の定期航路であることから、早急な建造計画を進めていく。



井上 浩司

子どもの虐待防止対策は

【答 弁】 関係機関との連携を強化し、相談体制の充実を図る

【質問】 厚生労働省の速報値では、昨年度、全国の児童相談所が対応した児童虐待件数が過去最多となり、1990年度の集計開始以来、26年連続の増加となった。

組織の充実強化を図ることが虐待の予防において重要であると考えているが。

【答 弁】 本市の児童虐待相談の現状は、平成26年度126件、平成27年度131件、平成28年度は159件で年々増加傾向にあり、本年度は、8月末現在95件の相談がある。

昨年度の相談内容は、心理的虐待が66件、身体的虐待が60件、ネグレクト（育児放棄）が32件となっている。

虐待相談の対応については、児童相談所、警察、教育、医療・福祉施設の関係機関が、相談、通告や一時保護などの判断を組織的にを行い、発見からその後の支援を円滑にできる協力体制を整え連携し対応している。

本市では、職員2人1組体制を原則に、通報があれば、早期に状況確認や面接、関係機関との連絡などを行っている。

今後の体制については、相談の増加、内容の複雑化や長時間の相談などに対応していけるよう関係機関との連携を強化するなど、少しでも相談員の業務や精神的負担を軽減できるよう、体制づくりに努める。



安藤 忠明

危機管理の対応は

答 弁

豪雨や、ミサイル発射に
国・県と協力して対応し
ていく

【質問】 豪雨災害時には、危険を市民にあら
じめ知らせることはできないのか。豪雨や
竜巻への市の対応はどうなっているのか。

【答弁】 全国で豪雨が多発している。本市では、
豪雨被害などを防止、軽減するために、県や高
松地方気象台と連携しながら、防災行政無線
やホツとメールなどにより、大雨、洪水、高潮、
暴風などといった各種警報や土砂災害警戒情
報、記録的短時間大雨情報などをお知らせし
て警戒を呼びかけている。また、必要に応じて
避難勧告、避難指示を発令するので、速やかな
避難行動をお願いしたい。竜巻については気
象台も確度の高い予測は困難である。竜巻注
意情報が発表された時には、頑丈な建物内に
移動するなどして安全確保に努めてほしい。

【質問】 北朝鮮の弾道ミサイル発射に対する
市の対応は。

【答弁】 弾道ミサイルが落下する可能性があ
る場合には、国がアラートにより警報を発す
る。その時には頑丈な建物内に避難するか、物
陰などに身を隠して頭部を守ってほしい。そ
の後、情報収集しながら防災行政無線などの
指示に従ってほしい。なお、落下物があつた場
合には、不用意に近づかず消防や警察に連
絡をお願いしたい。



石山 秀和

交流人口を増やす対策に ついてただす

答 弁

来館者にどのようなしたら
滞在いただけるか、人の流
れの状況確認や、滞在する
仕組みづくりを協議、検討
する場を設けたい

【質問】 新市民会館入場者の推移と周辺のにぎわ
い創出は。

【答弁】 有料イベントなどの入場者数は8月末
時点で39,154人であり、年間10万人を超え
る見込みである。このほか、展示販売などに多く
の入場があり、銭形まつりの人出は、昨年より約
5,000人増であった。市中心部に新たな人の
流れが生まれつつあり、周辺でランチを出す飲食
店やカフェをオープンしようとする動きもある。

国民健康保険制度についてただす

答 弁

平成30年4月から、県が
国保の財政運営の責任主
体となり、事務手続きは
従来どおり市町が担う

【質問】 来年から県内統一の保険料になるのか。

【答弁】 本市の国保は、一般会計から法定外繰入
れをして運営している。市町間の医療費水準には
差があるため、保険料の統一については当面時期
を限定せず、医療費水準の格差が縮小した時点で
検討するという方針が示されている。来年度から
国は財政調整機能の強化として、800億円程度
の財政調整交付金の拡充を予定している。統一後
の本市の状況については、現状と変わらない。



友枝 俊陽

市長のこれまでの市政 運営と政治姿勢を問う

答 弁

不撓不屈の精神で市政運
営にあたる所存

【質問】 合併後の市政運営の自己評価と観音
寺市の長期的将来像をどう考えているのか。

【答弁】 一期目は、新観音寺市の礎を築くため、
一体感の醸成と均衡ある発展に努めた。二期
目は、地域サロンの立ち上げ、学校施設の耐震
化、義務教育終了までの医療費助成などに取
り組む一方で、行財政改革に取り組み、経費削
減を実現。今期は、持続可能なコンパクトシ
ティの構築に向け、学校施設の移転統合や市
役所本庁舎、市民会館建設など施設の再配置
をはじめ、幹線道路の整備などハード面の充
実を図った。今後これらを最大限に生かすた
めのソフト事業に取り組んでいく。

人口減少を抑制し、西讃地域の拠点であり
続けられる持続可能な強いまちをつくること
が重要である。観音寺市の魅力を更に向上さ
せ、市民が誇りを持って住み続けたいと思え
るまちにするため、直面する課題を克服し、多
角的な視点に立つて新しい施策を展開したい。





藤田 均

来年から米の交付金が廃止になる影響と対策は

答 弁 JAも十分つかみきれていないとのこと

〔質問〕 来年度から米10[㍗]当たりの安定化交付金7、500円が廃止になる。政府が進めた担い手が一番打撃を受けるのでは。

〔答 弁〕 米麦中心の農家は少なからず影響があると思われるが、廃止に伴う国の予算相当額を他の農業振興に措置したくよう要望している。



旧三豊工業高校の避難所はどうなったのか

答 弁 県と協議し安全面から指定解除した

〔質問〕 高校が閉校になり指定解除か。地元自治会への連絡は。当高校の収容人数、避難予定自治会は。代替避難所の設置予定は。

〔答 弁〕 本市では緊急避難場所44力所、避難所91力所を指定。当高校は330人収容可能だったが、閉校で取消し。県に通知するとともにホームペー



五味 伸亮

ファミリープールの解体と活用を

答 弁 解体の範囲と方法を検討

〔質問〕 人口減少や若者の流出は大きな課題であり、危機意識と早期の対応が必要だと考える。住みたい・住んでみたい・訪れてみたい・体験したいと思える、人と自然が豊かに共生できる社会、田舎らしい懐かしい未来を創造したいとの思いから、その一つとしてファミリープール跡地活用を提案した。しかし、プール施設を解体しなければどんな案も実現できない。民間、市民の中で跡地活用を議論したとしても、いつになるかわからない議論では目標も計画も設定できない。地元からも解体を望む声がある。行政が解体し、跡地活用はプロポーザルなどで民間に任せる。せめて、解体予算の概算を持ち、解体設計、解体までの大まかな計画、もしくは、解体計画の策定時期を明確にするなど、民間活力を生かすためにも早急に決断すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

〔答 弁〕 行政として難しい提案も含まれるが、貴重な活用方法を提案いただいた。ファミリープールは建設から25年が経過し、ウォーター 슬라이ダーなどプール施設は老朽化が進んでおり、このまま放置しておく景観上もよくないことから、解体の範囲や方法について検討していく。

掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	●フレイル(老年症候群)予防について ●大人の発達障害について ●子供の生活習慣病について
篠原 重寿	●財政について ●観光振興策について ●道路管理について
高橋 照雄	●地方創生について ●財政について
安藤 忠明	●行政の目的について

氏 名	質 問 件 名
藤田 均	●スポーツ行政の充実・発展について ●種子法廃止に伴う認識について ●介護保険料滞納による処分について ●国民健康保険の運営について ●買い物支援対策について
五味 伸亮	●若者の定住策について ●中小企業の振興について ●農業振興について ●観光について ●周辺市との連携について

議案の審議結果 平成29年第4回(9月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
認定第 2 号	平成 28 年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 4 号	平成 28 年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 5 号	平成 28 年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 7 号	平成 28 年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 8 号	平成 28 年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 9 号	平成 28 年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 10 号	平成 28 年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 11 号	平成 28 年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第 12 号	平成 28 年度観音寺市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
認定第 13 号	平成 28 年度三観衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第 50 号	専決処分の承認について(和解について)	承 認
議案第 51 号	観音寺市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 52 号	観音寺市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	〃
議案第 53 号	観音寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第 55 号	工事請負契約の締結について	同 意
議案第 56 号	観音寺市公共下水道根幹施設の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	〃
議案第 57 号	平成 29 年度観音寺市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 58 号	平成 29 年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算(第 1 号)	〃
議案第 59 号	平成 29 年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	〃
議案第 60 号	平成 29 年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	〃
議案第 62 号	平成 29 年度観音寺市一般会計補正予算(第3号)	〃

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対

議 案 名 等		議 員 名																				議 決 結 果
		豊浦	篠原	友枝	井下	詫間	藤田	五味	篠原	立石	伊丹	安藤	大平	井上	大矢	大賀	秋山	石山	安藤	大久保	高橋	
		孝幸	和代	俊陽	尊義	茂	均	仲亮	重寿	隆男	準二	康次	直昭	浩司	一夫	正三	忠敏	秀和	忠明	隆敏	照雄	
		自民	自民	自民	自民	自民	共産	立志	社民	自民	自民	自民	友志	友志	自民	自民	自民	公明	公明	立志	立志	
認定第 1 号	平成 28 年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第 3 号	平成 28 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
認定第 6 号	平成 28 年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第 54 号	観音寺市営住宅条例の一部改正について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 61 号	香川県広域水道企業団の設置について	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※自民…自民新公会 立志…立志会 友志…友志会 公明…公明党 社民…社会民主党 共産…日本共産党



議会だより
ミライエ

表紙の写真募集



テーマ 観音寺市（四季折々の風景や行事など）

応募資格 市内に在住および勤務の方

応募方法 郵送またはEメールで、写真か写真データ（1人1点）と、住所・氏名・電話番号・作品のタイトル・返却希望の有無を明記の上、議会事務局までお送りください。

締切 平成29年12月28日（木）
議会だより発行は2月になります。

選考方法 応募作品の中から1点を決定し、掲載します。
※採用された作品の使用権は、観音寺市議会広聴広報委員会に帰属します。
また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。

応募先 〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号
観音寺市議会事務局 宛
電話 (0875) 23-3913
E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp
くわしくは、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。



視察に来てくれました

- ◆奈良県大和高田市議会
「新庁舎建設事業について」
- ◆香川県丸亀市議会
「市民会館の建設及び運営について」

21日	15日	14日	13日	11月12日	4日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

12月定例会の予定

9月議会の編集を終えました。今期では最後の定例会があります。議員も市長も改選となります。7月には、新しい市民会館で「市民と議会のつどい」を開催し、多くの市民と有意義な時間を過ごしました。また市民フォーラムには大きな反響をいただきました。次への糧としてまいります。この4年間、広聴広報委員会は市民の声を聴きながら、力を尽くしてきました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記



委員長 安藤 忠明
副委員長 大矢 一夫

藤田 均
五味 伸亮
友枝 俊陽
立石 隆男
詫間 茂

広聴広報委員会